

東日本高速道路株式会社 北海道支社
支 社 長 長内 和彦

質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 清水工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	特記仕様書 P6 「冬季休止期間が工期内の毎年11月16日から翌年4月30日までの期間は冬季休止期間として、作業を行ってはならない。」との記載がございます。 当該工事の冬季補正は冬季休止期間の日数を控除して算出するのか、それとも冬季補正を当初から計上しない考えなのかご提示願います。	現場管理費における冬季補正はありません。 なお、発注者が想定している間接工事費は土木工事積算基準（令和3年度版（東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社））に記載のとおりです。
2	契約保証金額は金銭的保証を見込む考えでよろしいでしょうか。	そのとおりです。 なお、発注者が想定している金銭的保証は土木工事積算基準（令和3年度版（東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社））第2編 間接工事費及び一般管理費等 1. 適用1-5 一般管理費等（G）に記載のとおりです。
3	割掛工事費の内共通仮設費に該当するものは「共通仮設費」の項目で、その他の準備工事費、仮設備工事費、雑工事費は直接工事費に該当するものでしょうかご教示願います。	割掛工事費については土木工事積算基準（令和3年度版（東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社））第1編 総則 1. 適用、第2編 1. 適用及び、「割掛対象表」を参照ください。

4	生コンクリートの単価は市販の物価資料掲載単価の採用でしょうかご教示願います。	積算に用いる材料費の単価についてはお答えできません。 土木工事積算基準（令和3年度版（東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社）第3編 材料費 3. 材料の価格を参照の上、御社の資材調達計画に基づき計上してください。
5	金抜設計書 番号 14 「高盛土排水工法尻工」で使用する「割栗石（碎石）Φ200mm 以下」の材料費について碎石及び再生碎石同様に公表願います。	積算に用いる材料費の単価についてはお答えできません。 土木工事積算基準（令和3年度版（東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社）第3編 材料費 3. 材料の価格を参照の上、御社の資材調達計画に基づき計上してください。
6	金抜設計書 番号 14 「高盛土排水工法尻工」で使用する吸出防止材の規格等についてご指示願います。	交付図書「設計図 附帯工・雑工」のうち高盛土排水工詳細図にある、詳細図の吸出防止材の規格等については透水性があり、盛土材の細粒分の吸出防止となる透水シートとしています。
7	金抜設計書 番号 21 「基礎材 B2」で使用します砂の材料費について碎石及び再生碎石同様に公表願います。	積算に用いる材料費の単価についてはお答えできません。 土木工事積算基準（令和3年度版（東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社）第3編 材料費 3. 材料の価格を参照の上、御社の資材調達計画に基づき計上してください。
8	金抜設計書 番号 29 「基礎杭」で使用する生コンクリート強度は 24N/mm ² との記載がございますが、セメント種別、骨材寸法、水セメント比、所要スランプ等についてご指示願います。	「基礎杭」で使用する生コンクリート強度は「設計図 橋梁下部工」5/55、6/55、32/55、33/55 に記載のとおり 30 N/mm ² となります。コンクリート種別については「共通仕様書」8-2-3 コンクリート種別 の Y 1-1 となります。その品質基準は「共通仕様書」に記載のとおり「コンクリート施工管理要領」4-1 に記載されています。

9	金抜設計書 番号 30 「コンクリート A1-3」で使用しますコンクリート強度は30N/mm ² との記載がございますが、セメント種別、骨材寸法、水セメント比、所要スランブ等についてご指示願います。	コンクリートの種別及びその品質基準は「コンクリート施工管理要領 令和3年7月版」4-1に記載されています。
1 0	金抜設計書 番号 31 「コンクリート B2-1」で使用しますコンクリート強度は24N/mm ² との記載がございますが、セメント種別、骨材寸法、水セメント比、所要スランブ等についてご指示願います。	コンクリートの種別及びその品質基準は「コンクリート施工管理要領 令和3年7月版」4-1に記載されています。
1 1	金抜設計書 番号 43 「粒状路盤工」で使用します材料の規格・寸法についてご指示願います。	「粒状路盤工」の材料の規格・寸法は特記仕様書16. 工事用材料に関する事項及び「共通仕様書 令和3年7月版」13-4-2 (1)をご確認ください。
1 2	金抜設計書 番号 74、75 「仮設目隠板工」は特記仕様書 P43 において「使用する材料は中古品」との記載がございますが、この中古品とは新品価格の90%という考えでしょうか。	発注者が想定している中古品の価格は土木工事積算基準（令和3年度版（東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社）第3編 材料費 5. 仮設材料費に記載のとおり新品価格の90%を上限としています。
1 3	金抜設計書 番号 77 「仮設土留工 設置工 A」は特記仕様書 P44 において工法が「ゼロクリアランス工法」と明示されておりますが、「ウォータージェットの併用」等の記載がされていないことから補助工法の併用は含んでいないと考えてよろしいでしょうか。	R3.9.7 付けで交付図書を訂正しており、「仮設土留工 設置工 A」に関する特記仕様書28-11-6 仮設土留工について「オーガー併用圧入」としています。
1 4	金抜設計書 番号 77 「仮設土留工 設置工 A」のゼロクリアランス工法においてウォータージェット等の補助工法が必要となった場合は設計変更の対象として協議願います。	監督員が必要と認めた場合は変更協議の対象となります。

1 5	<p>金抜設計書 番号 77</p> <p>「仮設土留工 設置工 A」のゼロクリアランス工法において使用する圧入機は豪雪補正の対象でしょうかご教示願います。</p>	豪雪補正という補正はありません。
1 6	<p>金抜設計書 番号 78</p> <p>「仮設土留工 設置工 B」は特記仕様書 P44 において工法が「油圧式杭圧入引抜機（無振動対策）」と明示されておりますが、「ウォータージェット併用」等の記載がされていないことから補助工法の併用は含んでいないと考えてよろしいでしょうか。</p>	特記仕様書 2 8 - 1 1 - 6 仮設土留工に記載のとおり ウォータージェットの併用とは考えていません。
1 7	<p>金抜設計書 番号 78</p> <p>「仮設土留工 設置工 B」の「油圧式杭圧入引抜機（無振動対策）」においてウォータージェット等の補助工法が必要となった場合は設計変更の対象として協議願います。</p>	監督員が必要と認めた場合は変更協議の対象となります。
1 8	<p>割掛対象表</p> <p>「仮設土留工設置工 A」及び「仮設土留工設置工 B」は仮設材等運搬費の割掛項目に「○」と記載されておりますが、当該項目で使用する鋼矢板は特記仕様書にて新材、中古材を使用して存置する設計となっております。よってこの 2 項については仮設材の運搬が発生しないと考えられますので、仮設材等運搬費の対象に該当しないと思われませんがご確認願います。それとも仮設材等運搬費として「積込・取卸し」のみの計上でしょうか。</p>	R3.9.7 付けで交付図書を訂正しておりますので「割掛対象表」をご確認ください。
1 9	<p>金抜設計書 番号 79</p> <p>「仮設土留工設置撤去工 B」は特記仕様書 P44 にて「中古材」との記載がございますが、当該工種は鋼矢板の撤去がございますので「中古材」ではなく「賃料＋損耗費」ではないでしょうか。</p>	特記仕様書 2 8 - 1 1 - 6 仮設土留工に記載のとおり「中古材」としてしております。御社が考える材料資料を賃料とする場合は、御社の資材調達計画に基づき計上してください。

2 0	金抜設計書 番号 79 「仮設土留工設置撤去工 B」における材料仕様が賃料となる場合にはその賃料日数についてご提示願います。	御社が考える材料資料を賃料とする場合は、御社の資材調達計画に基づき計上してください。
2 1	金抜設計書 番号 79 「仮設土留工設置撤去工 B」における鋼矢板が特記仕様書 P44 にある「中古材」が正しいのであれば当該項目の材料は運搬費が伴わないこととなりますので、割掛対象表における「仮設材等運搬費」は不要と思われますが、ご確認願います。それとも仮設材等運搬費として「積込・取卸し」のみの計上でしょうか。	特記仕様書 2 8－1 1－6 仮設土留工（2）種別に記載のとおり中古材です。「仮設土留工設置撤去工 B」には仮設材等運搬費は含まれておらず、「割掛対象表」における「仮設材運搬費」に仮設材等の運搬費用、積込み、取卸しに要する費用が計上されます。
2 2	割掛対象表 割掛先契約項目「掘削用重機足場費」に使用する材料は購入材である碎石 80～0mm とする考えでよろしいでしょうか。	「割掛対象表 参考内訳書」に記載されている「掘削用重機足場費」の「数量内訳（参考）」に記載されている盛土材料は規定しておりません。盛土材料は御社の施工計画に基づきお考えください。
2 3	割掛対象表 割掛先契約項目「橋梁下部工施工ヤード造成」の盛土で使用する材料は購入材である再生碎石 80～0mm とする考えでよろしいでしょうか。	「割掛対象表 参考内訳書」に記載されている「橋梁下部工施工ヤード造成」に記載されている盛土材料は規定しておりません。盛土材料は御社の施工計画に基づきお考えください。
2 4	附帯工・雑工図面 16/47 高盛土排水工詳細図において、「堅坑ふた工」の材料表において鉄筋 A の数量が 0.9t/箇所とありますが 0.09t/箇所が正と思われますがご確認願います。	R3.9.7 付けで交付図書を訂正しておりますので「設計図 附帯工・雑工」をご確認ください。 なお、堅坑ふた工の鉄筋数量は 0.090t/箇所が正しい数量となります。
2 5	割掛対象表 割掛先契約項目「工事用道路維持補修費」の数量内訳（参考）に「散水車 5,500L 約 13 か月」と記載されておりますが、当該項目は散水車の運転のみでグレーダーの使用や補足材については別途	特記仕様書 1 5－3 工事用維持・補修（1）に記載をご確認ください。

	協議と考えてよろしいでしょうか。	
--	------------------	--